

2018(平成30)年度 沖縄国際大学入学試験問題（前期）

地域行政学科・地域環境政策学科・産業情報学科・日本文化学科・人間福祉学科(福祉)

【選択科目：世界史 B】

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけない。
2. 入学志願票及び受験票に記入された科目を解答すること。
3. 入学志願票及び受験票に記入された以外の選択科目を解答した場合は、無効とする。
4. 筆記用具は、鉛筆（HB）または、0.5 ミリのシャープペンシル（HB）に限る。
5. 問題の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
6. 問題冊子の余白等は適宜利用してもよい。
7. 試験終了後、解答した解答用紙のみを提出すること。問題冊子は持ち帰ること。

2018(平成30)年度 沖縄国際大学入学試験問題（前期）

地域行政学科・地域環境政策学科・産業情報学科・日本文化学科・人間福祉学科（福祉） 【世界史B】

※ 解答はすべて解答用紙に記入すること。

- I. 西洋古代史を専門とする中井義明が書いた、ポリス形成期からペルシア戦争までの古代ギリシアに関する次の文を読み、後の問いに答えなさい。（なお、出題に際して、原文の一部を改めた。また、文中の「アテナイ」とはアテネのことである。）

**著作権承諾上の理由により、問題文の掲載は
控えさせていただきます。
問題文の閲覧をご希望の方は、沖縄国際大学
入試センターまでお問い合わせください。**

〔出典：中井義明「古代ギリシアの歴史」中井・佐藤・渋谷・加藤・小澤『教養のための西洋史入門』ミネルヴァ書房、2007年〕

問1 下線部①について、古代ギリシアのポリスに関して述べた次の各文のうち、誤りを含むものを1つ選び、記号で答えなさい。（3点）

- ア. ポリス内のアクロポリスには、ポリスの守護神をまつる神殿が建てられた。
- イ. ポリスは相互に独立し、抗争もしたが、オリンピアの祭典やデルフォイの神託などを共有した。
- ウ. ポリスに集住した市民には貴族と平民の区別があったが、貴族しか奴隷を所有できなかった。
- エ. ポリスでは人口増加の結果土地が不足したため、地中海・黒海沿岸に多数の植民市を建設した。

問2 下線部②について、次の各文のうち、アリストテレスに関して述べたものとして適切なものを1つ選び、記号で答えなさい。(3点)

- ア. 同時代の政治・風俗を風刺し、『女の平和』、『女の議会』などの作品を著した。
- イ. ペロポネソス戦争を主題とした歴史記述をおこなった。
- ウ. 相対主義の立場をとるソフィストを批判して、真理の絶対性を主張した。
- エ. 諸学を体系的、網羅的に集大成し、イスラーム哲学やスコラ学に影響を与えた。

問3 下線部③について、ソロンの改革の内容のうち、所有する財産に応じた権利と義務の付与(財産政治)以外のものについて、「市民」と「債務」の語を必ず使用して説明しなさい。(6点)

問4 下線部④について、ペイシストラトスのような僭主の再現を防止するため、クレイステネスが導入した制度の名前を答えなさい。(3点)

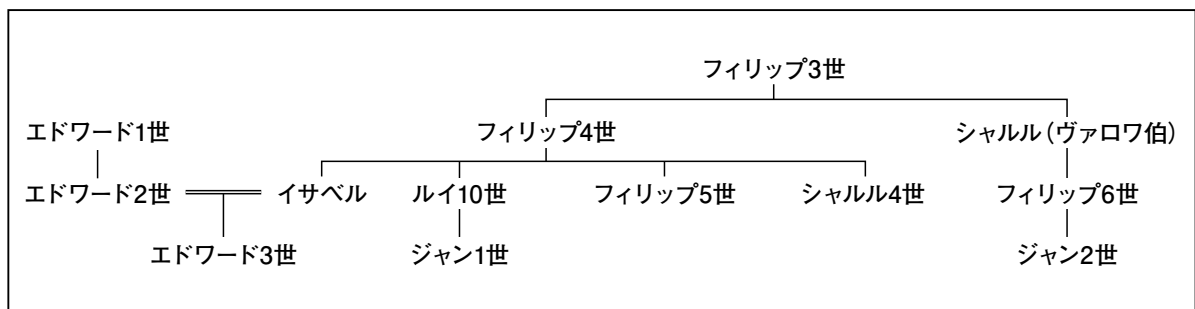
Ⅱ. 中世の英仏関係に関する次の文を読み、後の問いに答えなさい。

1328 年、フランス王だったシャルル 4 世が亡くなるとカペー朝が絶え、ヴァロワ家の〔 A 〕が王位を継承した。これに対し、イングランド王である①プランタジネット家の〔 B 〕がフランス王位継承権を主張し、フランスに攻め入ったことから、②百年戦争が始まった。

この戦争は、イングランドが戦局を優位に進めた一方、フランスでは〔 C 〕の流行や農民反乱などがおこり、シャルル 7 世の即位時には降伏寸前の状態だった。しかし、ジャンヌ＝ダルクの活躍で、オルレアンが解放されると形成は逆転し、1453 年、フランスは〔 D 〕を除くすべての領土を回復して、戦争が終結した。

戦争に敗れたイングランドでは、バラ戦争とよばれる内乱がおこり、これをおさめた③ヘンリ 7 世がテューダー朝をひらいた。

問 1 文中の空欄 A、B に入れるのに適切な人物名を、下の系図を参考にして、それぞれ答えなさい。(各 2 点)



問 2 下線部①について、イングランドのプランタジネット朝期に関して述べた次の各文のうち、誤りを含むものを 1 つ選び、記号で答えなさい。(3 点)

- ア. フランス貴族のアンジュー伯がヘンリ 2 世として即位したことで、この王朝ははじまった。
- イ. ジョン王が重税を課そうとしたことに対して、貴族が結束して権利章典を認めさせた。
- ウ. ヘンリ 3 世が貴族たちと対立した結果、シモン＝ド＝モンフォールが、聖職者、貴族、州代表の騎士、都市代表から構成される会議を招集した。
- エ. エドワード 1 世が招集した議会は、模範議会とよばれる。

問3 下線部②について、王位継承権をめぐる対立以外の百年戦争の開戦原因として適切なものを、次の中から1つ選び、記号で答えなさい。(2点)

- ア. ギュイエンヌ地方の領有をめぐる対立 イ. カトリック世界の盟主の地位をめぐる対立
ウ. 海外植民地の領有をめぐる対立 エ. 革命の推進をめぐる対立

問4 文中の空欄Cには、ヨーロッパの人口の3分の1を死亡させるほど大流行した病気の名前が入るが、この病名を答えなさい。(2点)

問5 文中の空欄Dに入れるのに適切な地名を、次の中から1つ選び、記号で答えなさい。(2点)

- ア. パリ イ. アヴィニョン ウ. ボルドー エ. カレー

問6 下線部③について、次の各文のうち、ヘンリ7世の政策に関して述べたものとして最も適切なものを1つ選び、記号で答えなさい。(2点)

- ア. 星室庁を設置した。 イ. イギリス国教会を設立した。
ウ. 一般祈禱書を制定した。 エ. スペインの無敵艦隊に勝利した。

Ⅲ. 17世紀のヨーロッパに関係する次の各文を読み、下線部の正誤を判断して、誤っているものの番号と正しい語句を答えなさい。(番号：1点、語句：2点)

問1 イギリスでは、1603年に①スコットランド王がジェームズ1世として即位して、ステュアート朝を開いた。ジェームズ1世は②王権神授説を唱えて議会と対立した。そのあとを継いだチャールズ1世は専制政治を強めたため、1628年、議会は③権利の請願を提出した。その後、国王と議会との対立は激しくなり、④名誉革命とよばれる内戦が勃発した。

問2 ユグノー戦争が終結し、国内の安定が復活したフランスでは、1610年に即位したルイ13世の治世下で、宰相①リシュリユーが絶対王政の基礎を固めた。1643年にルイ14世が幼少で即位すると、マザランが宰相となり②フロンドの乱を鎮圧して、絶対王政が強化された。ルイ14世は、1661年に親政を開始すると、③ケネーを財務総監に起用して重商主義政策を展開した。また、ルイ14世は「朕は国家なり」と述べ、④ヴェルサイユ宮殿を造営した。

問3 ボヘミア（ペーメン）のプロテスタントが、①ハプスブルク家のカトリック政策に反発したことから、1618年に②百年戦争が始まった。この戦争はほぼすべてのヨーロッパを巻き込み、プロテスタント側ではデンマークや③スウェーデンが、カトリック側ではスペインが参戦した。戦争後半には、カトリック国のフランスがプロテスタント側で参戦するなど、宗教戦争としての性格が失われたが、④ウエストファリア条約が結ばれて、戦争は終結した。

問4 ロシアでは、1613年に①ブルボン朝がひらかれた。1682年に即位したピョートル1世（大帝）は、西欧の先進的な科学や技術の導入に努めた。また、1689年に清朝と②ネルチンスク条約を結び、東部の国境を画定した。また、ピョートル1世は③北方戦争で勝利をおさめ、バルト海沿岸を獲得し、この地に④ペテルブルクを建設して首都とした。

問5 17世紀には宮廷文化が花ひらき、豪壮華麗な①ロマネスク式の芸術が流行した。絵画では、ルーベンスや②ベラスケスらが宮廷画家として活躍した。演劇や音楽も発達し、劇作家ではモリエール、③ラシーヌらが活躍し、音楽ではバッハや④ヘンデルらが古典派音楽を確立した。

IV. 19 世紀の英国についての資料 A、B に関する後の各問いに答えなさい。

**著作権承諾上の理由により、問題文の掲載は
控えさせていただきます。
問題文の閲覧をご希望の方は、沖縄国際大学
入試センターまでお問い合わせください。**

〔出典：小池滋編『ビクトリアン・パンチ 図像資料で読む 19 世紀世界 第 4 巻』柏書房、1995 年〕

問 1 資料 A は、英国の絵入り週刊誌『パンチ』の 1876 年 4 月 15 日号に掲載された「女王の新しい王冠」と題されたイラストであり、左側の人物は当時の首相ディズレーリを描いている。

(1) ディズレーリの政策として適切なものを、次の中から 1 つ選び、記号で答えなさい。

(2 点)

ア. 第 1 回対仏大同盟の結成
ウ. スエズ運河株式会社の買収

イ. 穀物法の廃止
エ. アイルランド自治法の制定

(2) 右側に描かれている「女王」の名前を答えなさい。(2 点)

(3) 右側に描かれている「女王」の治世のできごととして適切ではないものを、次の中から 1 つ選び、記号で答えなさい。(2 点)

ア. 第 1 回選挙法の改正
ウ. ロンドン万国博覧会の開催

イ. アヘン戦争の勃発
エ. 義和団事件の勃発

(4) 右側に描かれている「女王」は、このイラストのできごとによってある国の皇帝となったが、その国名を答えなさい。(2 点)

問2 資料Bは、英国の絵入り週刊誌『パンチ』の1880年5月8日号に掲載された「新しい内閣」と題されたイラストであり、右側の人物は資料Aの女王と同一人物である。

(1) 左側の人物は、この年の総選挙で勝利をおさめ首相となった人物だが、この人物の名前を答えなさい。(2点)

(2) 左側の人物が率いた政党の名前として適切なものを、次の中から1つ選び、記号で答えなさい。(2点)

ア. 保守党 イ. 自由党 ウ. 労働党 エ. 共産党

(3) 左側の人物は、1880年から1885年まで首相の地位にいたが、この期間におきたできごととして適切なものを、次の中から1つ選び、記号で答えなさい。(3点)

ア. プラッシーの戦いの発生 イ. クリミア戦争の発生
ウ. アロー戦争の発生 エ. ウラービー（オラービー）の反乱の発生

V. 騎馬遊牧民に関する次の文を読み、後の問いに答えなさい。

文献上に登場する最古の遊牧国家の主体は、前6世紀から南ロシアの草原地帯を勢力下においた、イラン系と推定される〔 A 〕であった。前4世紀ころには、その影響から内陸アジア東部でも騎馬遊牧民が活発に活動し、①匈奴、烏孫、月氏などの集団が割拠した。とくに前3世紀末に〔 B 〕の統率者となった冒頓単于は、成立後まもない漢を圧迫した。

4世紀には、内陸アジアの東西で遊牧民の活動が活発化した。草原地帯の東では鮮卑などの②五胡が華北に、西では〔 C 〕がパンノニアに進出し、各地に変動をもたらした。その後、モンゴル高原には③柔然、突厥、ウイグルなどの遊牧国家が登場した。

9世紀半ばにウイグルが滅亡した後、モンゴル高原の諸部族の多くは④遼に服属したが、12世紀初めに遼が滅亡すると諸部族統合の動きが進んだ。13世紀初頭には、〔 D 〕が遊牧民のハン（君主）位に就任してチンギス＝ハンを名乗り、モンゴル系・トルコ系の諸部族を統合して⑤モンゴル帝国をつくり上げた。その範囲は13世紀半ばまでに、東アジアから東欧まで広がり、イラン・イラク方面のイル＝ハン国、南ロシアのキプチャク＝ハン国、中央アジアの〔 E 〕＝ハン国、そして中国の⑥元朝など、チンギス＝ハンの子孫による地方政権のゆるやかな連合体となった。

14世紀に入ると、各地で起こった天災や各地方政権の内紛により、モンゴル帝国は急速に解体していった。しかし、13世紀初頭から14世紀半ばにおけるこの帝国の拡張によって、ユーラシア大陸の全域で⑦東西文化の交流が進んだ。

問1 文中の空欄 A ～ E に適切な語句を入れなさい。(各2点)

問2 文中の下線部①の説明として正しいものを、次の中から1つ選び、記号で答えなさい。(1点)

- ア. トルコ系の遊牧民とされる匈奴は、もとは天山山脈を本拠とした。
- イ. 匈奴は漢の太祖の攻勢を受け、東西に分裂した。
- ウ. 烏孫は漢と同盟し、その西域進出に協力した。
- エ. モンゴル高原から西方に進出した月氏は、小月氏を建国した。

問3 文中の下線部②に関する説明として正しいものを、次の中から1つ選び、記号で答えなさい。(1点)

- ア. 五胡とは、匈奴・羯・鮮卑・氐・羌などの総称である。
- イ. 五胡は赤眉の乱に乗じて華北に進出し、複数の国を建国した。
- ウ. 氐が建国した成漢は、苻堅の時代に華北を統一した。
- エ. 鮮卑の一部は中国文化を取り入れて隋を建国し、華北を統一した。

問4 下線部③に関する説明として正しくないものを、次の中から1つ選び、記号で答えなさい。
(2点)

- ア. 柔然はモンゴル系騎馬遊牧民で、ゴビ砂漠一帯を支配した。
- イ. 突厥はトルコ系騎馬遊牧民で、柔然・エフタルを打ち破り、中央アジア一帯を支配した。
- ウ. 突厥は6世紀末に東西に分裂し、東は唐に、西はウイグルに滅ぼされた。
- エ. ウイグルは安史の乱で唐を援助したが、逆に唐はその統制に苦しんだ。

問5 下線部④の遼と宋の間で結ばれた「澶淵の盟」の説明として正しいものを、次の中から1つ選び、記号で答えなさい。(1点)

- ア. 「澶淵の盟」とは、遼の太宗と宋の真宗とのあいだで結ばれた講和条約である。
- イ. 宋を兄、遼を弟とし、毎年宋から遼に織物や銀が歳賜として贈られることが決定した。
- ウ. この講和条約が締結された後も、遼と宋の戦争は継続した。
- エ. 「澶淵」とは、条約締結の地である「澶州」(江蘇省)の雅名である。

問6 下線部⑤に関する説明として正しくないものを、次の中から1つ選び、記号で答えなさい。
(2点)

- ア. モンゴル民族は、モンゴル高原一帯を本拠としたアルタイ語系の遊牧民である。
- イ. ハイドゥは、ワールシュタットの戦いでドイツ・ポーランド諸侯連合軍を破った。
- ウ. チンギス・ハンは千戸制を採用し、行政・軍事の中央集権体制の基礎をつくった。
- エ. フラグは西アジアに遠征し、バグダードを占領してアッバース朝を滅ぼした。

問7 下線部⑥の侵攻を受けていない地域を、次の中から1つ選び、記号で答えなさい。(1点)

ア. ベトナム イ. ミャンマー ウ. フィリピン エ. ジャワ

問8 下線部⑦に関する説明として正しくないものを、次の中から1つ選び、記号で答えなさい。

(2点)

- ア. モンゴル人にイスラーム教徒が多かったため、中国にもイスラーム教が広まった。
- イ. 大都を訪れたマルコ＝ポーロは、その見聞を『世界の記述』にまとめた。
- ウ. イスラームの天文学を取り入れ、郭守敬が授時暦をつくった。
- エ. 中国で初めてカトリックが布教された。

Ⅵ. 東南アジアおよび東アジアの植民地化に関する次の4つの文を読み、後の問いに答えなさい。

- (1) 香辛料を求めて東南アジアに進出したオランダは、〔 **A** 〕事件でイギリスに対する優越を決定的なものにすると、18世紀半ばに〔 **B** 〕王国を倒して、ジャワ島の大半を直接支配下においた。19世紀にはオランダ政庁の直接支配の下で、コーヒー、サトウキビ、藍などの商品作物を導入し、さらに1830年からは①強制栽培制度を導入した。

問1 文中の空欄AおよびBに適切な語句を入れなさい。(各2点)

問2 下線部①に関する説明として正しいものを、次の中から1つ選び、記号で答えなさい。

(1点)

- ア. オランダ政庁は栽培作物と価格を強制的に決定したが、生産量などは生産者に任せた。
- イ. この制度の導入の背景には、直前に起きたスマトラ戦争による財政難があった。
- ウ. この制度の下で、ジャワ村落では米不足などによる飢饉が続発した。
- エ. この制度の導入にも関わらず、オランダの植民地経営状況は悪化していった。

- (2) マレー半島とミャンマーに進出したイギリスは、ペナン、マラッカ、〔 **C** 〕を獲得すると、1824年に②イギリス＝オランダ協定を結び、これらの三都市を統合して海峡植民地とした。イギリスは、1870年代に入ると港市支配から領域的な支配にのりだした。マレー連合州では広大な未開地を利用しゴムのプランテーションを経営した。また、3次にわたる〔 **D** 〕戦争をへてインドに併合したミャンマーでは、デルタ地帯の水田稲作開発を進めた。

問3 文中の空欄CおよびDに適切な語句を入れなさい。(各2点)

問4 下線部②にもとづいてイギリスがオランダに返還した島を、次の中から1つ選び、記号で答えなさい。(1点)

ア. ジャワ島 イ. バリ島 ウ. ボルネオ島 エ. スラウェシ島

(3) 19世紀初頭、フランスは義勇兵を派遣してベトナムにおける初の統一国家である〔 E 〕の建国を助けたが、同世紀の半ばになるとカトリック教徒の迫害を理由とし、強引に③軍事介入してメコン川流域を奪って領土を拡大した。ベトナムの植民地化に成功したフランスは、保護国としていたカンボジアと合わせてフランス領〔 F 〕連邦を成立させると、その後ラオスも編入しこの地域における植民地支配を確立した。

問5 文中の空欄EおよびFに適切な語句を入れなさい。(各2点)

問6 下線部③に関連する出来事として正しいものを、次の中から1つ選び、記号で答えなさい。(1点)

ア. 劉永福は紅旗軍を組織し、フランスの軍事介入に抵抗した。
イ. フランスは、サイゴン条約によって、ベトナム北部および中部を支配下に置いた。
ウ. ベトナムの宗主権をめぐって、清仏戦争が勃発した。
エ. フランス勢力はその後、隣国のタイを植民地化した。

(4) 中国茶の輸入超過が進んだことによって銀流出が深刻化していたイギリスは、19世紀初め、本国産の綿製品をインドへ、インド産のアヘンを中国へ売る〔 G 〕貿易を開始した。アヘン吸引が広がった中国では、逆に大量の銀が流出する状況が生まれたため、欽差大臣に任命された〔 H 〕がアヘン吸引や密輸を厳しく取り締まったが、これを不満に思ったイギリスは、自由貿易の実現を名目に戦争をおこした。この戦争に勝利したイギリスは、1842年、清と④南京条約を締結した。

問7 文中の空欄GおよびHに適切な語句を入れなさい。(各2点)

問8 下線部④と関連する出来事として正しいものを、次の中から1つ選び、記号で答えなさい。(1点)

ア. 清に、マカオ割譲、5港開港、公行廃止、賠償金支払いなどを認めさせた。
イ. 翌年、虎門寨追加条約が結ばれ、協定関税、最恵国待遇が規定された。
ウ. 清は望厦条約や黄埔条約によって、ロシアやフランスにもイギリスと同様の権利を認めた。
エ. イギリスは条約改定をもくろみ、1856年にドイツとともにアロー戦争を起こした。

